

PRAEVIDENTIA DAILY (6月2日)

昨日までの世界：新興国通貨への売り圧力

先週金曜は全体的に小動きだったが、主要通貨ではユーロ、ポンド、フランなど欧州通貨の上昇が目立った一方、新興国通貨が再び下落、南アランド、ブラジルレアルやトルコリラの下落が大きかった。またカナダドルは、カナダ1QGDPが前期比年率で+1.2%と市場予想(+1.8%)を大きく下回ったことから反落した。欧州通貨に特段の買い材料はなく、ECB5月政策理事会以降の金融緩和期待を背景としたユーロの下落基調に変化はないが、週末を控えて一時的な買戻しが入ったとみられる。

新興国通貨では、南アランドは、南ア4月貿易赤字が130億ランドと前月および市場予想以上の赤字となったことがきっかけで反落したようだが、1%以上の下落をもたらすほどのサプライズだった訳ではない。但し、先般27日発表の1QGDPの大幅マイナスなどを受けて、2月以降の新興国通貨の買戻しモードが反転しつつあり、悪材料に反応し易くなっている面があるかもしれない。ブラジルレアルも、ブラジル1QGDPは前年比+1.9%と市場予想(+2.0%)を若干下回った程度だったが、売り圧力がかかった。トルコでは、丁度1年前に起きたGezi公園での反政府大規模デモと政府による鎮圧行動から1周年を記念して再びデモが起きたことも、リラ売り圧力の一因だったとみられる。

この間、ドル/円相場は、日米経済指標がまちまちの結果で、米長期債利回りも横ばいだったことから、概ね101円台後半で横ばいが続いた。日本では、4月全国コアCPIは+3.2%と市場予想を若干上振れした一方、5月分東京コアCPIは+2.8%と市場予想を下回り、方向感不明確ではない。その他4月分統計は、家計調査(消費)および鉱工業生産が市場予想を下回り、増税後の反動減の大きさを印象付けたが、反動減後の再反発力が重要で、あまり市場の反応は大きくなかった。米国でも、個人支出(前月比-0.1%)やミシガン大消費者信頼感確報値(81.9)は市場予想を下回った一方、シカゴPMIは65.5と市場予想を上回り、Fedが重視しているコアPCEデフレーターは前年比+1.4%と依然として低く市場予想通りだったが、前月(+1.2%)から大きく持ち直し低インフレからの脱却を意識させるもので、ドル下支えとなった。

主要通貨ペアの前営業日比変化率と、連動性が高い金利・株価・商品市況の変化

| | 変化率 | 米日2年金利差 | 米2年金利 | 日2年金利 | 米日10年金利差 | 米10年金利 | 日10年金利 | 米株価 | 日株価 | 原油WTI | 原油Brent |
|----------|------|----------|--------|-------|-----------|---------|--------|------|-------|---------|---------|
| ドル/円 | -0.0 | -0.00 | -0.00 | +0.00 | +0.01 | +0.01 | +0.00 | +0.2 | -0.3 | -0.8 | -0.5 |
| | 変化率 | 独米2年金利差 | 独2年金利 | 米2年金利 | 独米10年金利差 | 独10年金利 | 米10年金利 | 欧株価 | 米株価 | 原油Brent | 西伊の対独株差 |
| ユーロ/ドル | +0.2 | +0.00 | +0.00 | -0.00 | -0.01 | +0.00 | +0.01 | +0.1 | +0.2 | -0.5 | -0.01 |
| | 変化率 | 英米2年金利差 | 英2年金利 | 米2年金利 | 英米10年金利差 | 英10年金利 | 米10年金利 | 英株価 | 米株価 | | |
| ポンド/ドル | +0.2 | +0.02 | +0.02 | -0.00 | +0.02 | +0.03 | +0.01 | -0.4 | +0.2 | | |
| | 変化率 | 豪米2年金利差 | 豪2年金利 | 米2年金利 | 豪米10年金利差 | 豪10年金利 | 米10年金利 | 米株価 | 中国株価 | CRB | |
| 豪ドル/米ドル | +0.0 | +0.01 | +0.01 | -0.00 | +0.00 | +0.01 | +0.01 | +0.2 | -0.1 | -0.6 | |
| | 変化率 | NZ米2年金利差 | NZ2年金利 | 米2年金利 | NZ米10年金利差 | NZ10年金利 | 米10年金利 | 米株価 | 中国株価 | CRB | |
| NZドル/米ドル | +0.2 | +0.04 | +0.04 | -0.00 | +0.01 | +0.02 | +0.01 | +0.2 | -0.1 | -0.6 | |
| | 変化率 | 米加2年金利差 | 米2年金利 | 加2年金利 | 米加10年金利差 | 米10年金利 | 加10年金利 | 米株価 | 原油WTI | CRB | |
| 米ドル/加ドル | +0.1 | +0.00 | -0.00 | -0.00 | +0.03 | +0.01 | -0.02 | +0.2 | -0.8 | -0.6 | |

(注)為替相場、株価および商品価格は前営業日比変化率、金利は前営業日比変化幅(%ポイント)。

主要通貨ペアの前週比変化率と、連動性が高い金利・株価・商品市況の変化(先週1週間)

| | 変化率 | 米日2年金利差 | 米2年金利 | 日2年金利 | 米日10年金利差 | 米10年金利 | 日10年金利 | 米株価 | 日株価 | 原油WTI | 原油Brent |
|----------|------|----------|--------|-------|-----------|---------|--------|------|------|---------|---------|
| ドル/円 | -0.2 | +0.02 | +0.03 | +0.01 | -0.04 | -0.06 | -0.01 | +1.2 | +1.2 | -1.6 | -1.0 |
| | 変化率 | 独米2年金利差 | 独2年金利 | 米2年金利 | 独米10年金利差 | 独10年金利 | 米10年金利 | 欧株価 | 米株価 | 原油Brent | 西伊の対独株差 |
| ユーロ/ドル | +0.0 | -0.03 | +0.00 | +0.03 | +0.00 | -0.05 | -0.06 | +1.5 | +1.2 | -1.0 | -0.11 |
| | 変化率 | 豪米2年金利差 | 豪2年金利 | 米2年金利 | 豪米10年金利差 | 豪10年金利 | 米10年金利 | 世界株価 | 米株価 | 中国株価 | CRB |
| 豪ドル/米ドル | +0.9 | -0.07 | -0.03 | +0.03 | -0.07 | -0.13 | -0.06 | +0.7 | +1.2 | +0.2 | -0.9 |
| | 変化率 | NZ米2年金利差 | NZ2年金利 | 米2年金利 | NZ米10年金利差 | NZ10年金利 | 米10年金利 | 世界株価 | 米株価 | 中国株価 | CRB |
| NZドル/米ドル | -0.6 | -0.07 | -0.04 | +0.03 | -0.03 | -0.09 | -0.06 | +0.7 | +1.2 | +0.2 | -0.9 |
| | 変化率 | 英米2年金利差 | 英2年金利 | 米2年金利 | 英米10年金利差 | 英10年金利 | 米10年金利 | 英株価 | 米株価 | | |
| ポンド/ドル | -0.5 | -0.06 | -0.03 | +0.03 | -0.01 | -0.06 | -0.06 | +0.4 | +1.2 | | |
| | 変化率 | 米加2年金利差 | 米2年金利 | 加2年金利 | 米加10年金利差 | 米10年金利 | 加10年金利 | 世界株価 | 米株価 | 原油WTI | CRB |
| 米ドル/加ドル | -0.1 | +0.03 | +0.03 | -0.00 | +0.00 | -0.06 | -0.06 | +0.7 | +1.2 | -1.6 | -0.9 |

(注)為替相場、株価および商品価格は前週比変化率、金利は前週比変化幅(%ポイント)。

きょうの高慢な偏見：ユーロはインフレ低下に順張り

きょうの注目通貨：EUR↓

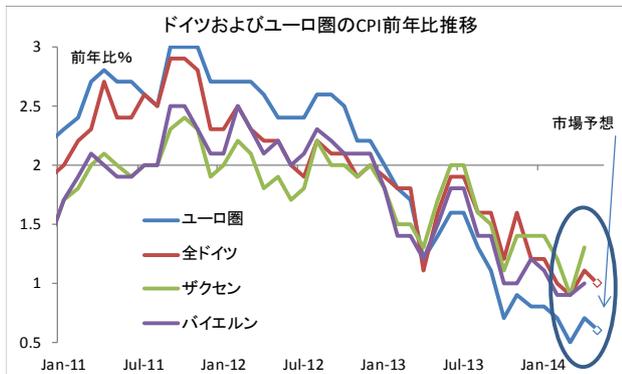
| きょうの指標、イベント | 時刻 | 前期 | 市場予想 | 備考 |
|---------------------------|--------------|--------------|--------------|------------|
| 本邦 1Q 設備投資・前年比 | 8:50 | +2.8% | +5.9% | 除くソフトウェア |
| 豪 4月住宅建設許可件数・前月比 | 10:30 | -3.5% | +2.0% | プラス化だと1月以来 |
| 独ザクセン州 5月 CPI・前年比 | 16:00 | +1.3% | | |
| Evans シカゴ連銀総裁発言 | 16:00 | | | ハト派、投票権なし |
| 英 4月住宅ローン承認件数 (BoE) | 17:30 | 6.71 万件 | 6.45 万件 | 減少だと3か月連続 |
| 英 5月 PMI 製造業 | 17:30 | 57.3 | 57.0 | |
| 独 5月総合 HICP 速報・前年比 | 21:00 | +1.1% | +1.0% | |
| 米 5月 ISM 製造業景況指数 | 23:00 | 54.9 | 55.5 | |
| Linde スペイン中銀総裁発言 | 23:30 | | | |

(出所) プレビデンティア・ストラテジー作成

本日はドイツ5月CPIが注目される。3月の+0.9%から4月に+1.1%へ持ち直した後、5月は再び+1.0%へ低下する予想となっており、3日発表のユーロ圏分も同様の動きが予想されていることから(3月+0.5%、4月+0.7%、5月予想+0.6%)、ユーロ圏分の先行指標としてドイツの動向が注目される(下図を参照)。ドイツでも、そして全国分に先駆けて発表されるザクセン州分などで、前月から前年比伸び率の0.1%ポイント低下が示されると、低インフレが確認され6月5日のECB定例政策理事会での追加利下げシナリオを補強し、ユーロ売りに繋がるだろう。因みに、先週金曜発表のスペイン分は+0.4%から+0.2%へ、イタリア分は+0.5%から+0.4%へ低下し、いずれも市場予想を下回ったが、先週金曜にユーロは上昇していたことから、インフレ低下はまだ織り込まれていない可能性がある。

その他、豪住宅建設許可件数は過去2か月悪化していた後、今回は反発が予想されているが、市場予想を下回り前月比で再びマイナスになるようだと、豪州住宅市場の悪化懸念を強め、豪ドル売りが再び強まるだろう。

他方、英国では住宅ローン承認件数がBoEによる銀行に対するローン供与基準の強化勧告を受けて3か月連続の減少が予想されているが、もしこれが安定化あるいは持ち直しを示すようだと、英国の早期利上げ期待を強めポンド高に繋がるだろう。



ディスクレイマー

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、全てお客様ご自身でご判断下さいませようよろしくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。当資料は購読者向けに送付されたものであり、購読者以外への転送を禁じます。

プレビデンティア・ストラテジー株式会社
 金融商品取引業者(投資助言・代理業)関東財務局長(金商)第2733号
 一般社団法人 日本投資顧問業協会 会員番号 012-02641